

よく晴れた夏の日、小学5年生と  
保育園児の、プールでの交流活動に  
参加しました。

小学生は夏休みを控えて、テスト  
等で忙しい時期だったようですが、  
園児たちは前々から憧れの小学校の  
プールで遊べることを楽しみに、胸を  
ふくらませていました。教室に入ら  
ず、小学生と園児がペアを組む間、い  
つもは元気いっぱいにはじけている園  
児たちが、神妙な表情でお兄ちゃん  
やお姉ちゃんの言うことを聞いてい  
たのが微笑ましくて印象的でした。

いざプールに向かい、冷たいシャ  
ワーを浴びると「キヤーキヤー」と歓  
声があがりました。園児の両手を  
とって、「大丈夫！」とプールの真ん中  
へ引つ張ってあげたり、相手の子が自  
由気ままに行動しても笑顔で待ち  
ながら促す等、あちらこちらで園児  
たちを見守りながら、楽しませよう  
とする姿が見られました。そして、  
小学生の園児たちへの丁寧な優しさ  
あふれる対応に、ほっこりと気持ち  
が温かくなりました。

人が多くて、プールをプールに投  
げられない子どもがいると「投げた  
い？」と聞き、ボールを手渡し、

## プール遊び

「ちょっと寄ってあげて」と前の友達に  
言って、投げやすくスペースをつくつて  
いる小学生もいました。

この小学生たちも、学習や友達関  
係などいろいろと考えることが増え  
てくる年齢だと思えます。小さな子  
どもたちに優しくできる気持ちの余  
裕から、この小学生たちには周りの  
大人たちに大切に思われている実感  
があるのだろうと想像されました。

園児たちは、「楽しかった」「○○  
ちゃんの泳ぐのがきれいやった！」と  
大満足。

この先、子どもたちには学校生活  
においても、起こり得る災害時等に  
も地域の仲間として力を合わせて  
いつてもらいたいと思います。優しさ  
と同時に頼もしさも感じることがで  
きたひと時でした。

\*このシリーズはあなたとあなた  
の周りにいる人の間に温かなつ  
ながりが生まれることを願い、  
人権について考えるきっかけに  
なることを目的としています。

### 問い合わせ

人権啓発広報委員会

☎ 880・6569